



あおぞ

大江町立
本郷東小学校
学校だより
No. 2
令和4年5月26日

自分たちの学校は自分たちが良くする

今年度の児童会の目標は「明るく元気なあいさつをし、学年関係なく仲がよいキラリッ子」です。そして、「私たちの自慢」に「あいさつ」と「なかよし」を挙げ、重点活動として「あいさつ運動」と「縦割り班活動」に取り組んでいます。

4月から朝の校門は、元気なあいさつが飛び交い、笑顔がたくさん見られ活気にあふれています。というのも、児童会の運営委員の子どもたちが、あいさつ運動をしているからです。運営委員の7人の子どもたちは、自分が登校すると、ランドセルを背負ったまま校門に立ってくれます。他の子どもたちは、初めのうちは、恥ずかしそうにしていたのですが、今ではお互いに元気にあいさつができるようになってきました。5月10日は、PTA 運営委員のみなさんのあいさつの日が重なり、さらにパワーアップして朝からとても清々しい気持ちになりました。

運営委員の子どもたちに、あいさつ運動を今後どう展開するのか聞いてみました。すると、「運営委員だけでなくみんなにやってもらいたい」ということでした。自分たちが校門に立ってあいさつをしてみると、あいさつが上手な人とそうでない人がいることが分かったそうです。だから、みんなに校門に立ってあいさつをしてほしいのだそうです。全員参加のあいさつ運動を実施して、自分からあいさつができるようにしたいというのが、児童会の「こだわり」です。なんとも頼もしく、自分たちの学校は自分たちで良くするという気持ちが伝わってきて嬉しくなります。これからの活動が楽しみです。

また、朝から元気にあいさつができる子どもを見てみると、早起きをしてすっきり目覚め、朝ごはんをしっかり食べて、「学校のスイッチ」がきちんと入っているようです。きっと、学校生活にスムーズに入り、授業もしっかり受けていることでしょう。朝からきちんとあいさつができる子どもが、これからどんどん増えてくることと思います。こちらも楽しみです。

PTAのみなさんには、今年度も毎月10日前後にあいさつの日として校門に立っていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



【校長 鈴木智香子】